

## 基本情報

### 指標番号

3402

### 名称

周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ非使用）

### 分母

鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ非使用）が行われた症例

### 分子

手術実施日の翌日（手術実施日+1）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（投与期間：24時間以内停止）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

### 必要データセット

DPC 様式 1, EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

診療行為コード	基本漢字名称	Kコード	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
150159010	ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	K6335	○	○	○	○	○	○	○

3. このうち、手術実施日にメッシュが算定されている（EFファイルの特定器材コードに、下記9桁に対応する特定器材コードが含まれる）症例を除外する。

特定器材コード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
736670000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・一般		○	○	○	○	○	○
736680000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・形状付加型		○	○	○	○	○	○
736690000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・腹膜欠損用		○	○	○	○	○	○

4. このうち、手術実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

薬価基準コード 7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
616[1/9][4/5/6]**	主として抗酸菌に作用するもの	注射	○	○	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○	○	○

5. このうち、手術実施日の前日（手術日-1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。
6. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

#### 分子の定義

1. 手術実施日の翌日（手術実施日+1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない（薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない）症例。

#### その他

##### 薬剤一覧の出力

はい

##### リスク調整因子の条件

##### 指標の算出方法

分子÷分母

##### 指標の単位

%

##### 結果提示時の並び順

降順

##### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。
2. 本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

#### 参考資料

##### 参考値

参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/ 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.
2. 日本外科感染症学会 消化器外科 SSI 予防のための周術期管理ガイドライン作成委員会 消化器外科 SSI 予防のための周術期管理ガイドライン 2018